様式第１号（第６条第１項、第１０条第２項関係）

（第一面）

建築物エネルギー消費性能確保計画に係る軽微な変更説明書

年 月 日

（あて先）高岡市長

申請者氏名 印

申請に係る建築物の建築物エネルギー消費性能確保計画について、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行規則第３条に該当する軽微な変更がありましたので、変更の内容を報告します。

|  |  |
| --- | --- |
| (1) 建築物等の名称 |  |
| (2) 建築物等の所在地 |  |
| (3) 省エネ適合判定年月日・番号 |  |
| (4) 変更の内容 |
| □A 省エネ性能が向上する変更□B 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更□C 再計算によって基準適合が明らかな変更（計画な抜本的な変更を除く） |
| (5) 備考 |
|  |
| （注意） | 受付欄 |
| １．この説明書は、完了検査申請の際に、申請に係る建築物の建築物エネルギ |  |
|  |
| ー消費性能確保計画に軽微な変更があった場合に、完了検査申請書の第三 |
| 面の別紙として添付してください。 |
| ２．（4）変更の内容において、Ａにチェックした場合には第二面に、Ｂにチェ |
| ックした場合は第三面に必要事項を記入した上で、変更内容を説明するた |
| めの図書を添付してください。Ｃにチェックした場合には軽微変更該当証 |
| 明書及びその申請に要した図書を添付してください。 |

（第二面）

**[A 省エネ性能が向上する変更]**

|  |
| --- |
| ・変更内容は、□チェックに該当する事項となる |
| □ ① 建築物高さもしくは外周長の減少 |  |
| □ ② 外壁、屋根もしくは外気に接する床の面積の減少 |  |
| □ ③ 空調負荷の軽減となる外皮性能の変更 |  |
| □ ④ 設備機器の効率向上・損失低下となる変更 |  |
| □ ⑤ 設備機器の制御方法の効率向上・損失低下となる変更 |  |
| □ ⑥ エネルギーの効率的利用を図ることのできる設備の新設、増設 |  |
| □ その他 （ | ） |
| ・上記□チェックについて具体的な変更の記載欄 |
|  |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更内容は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした事項については、具体的な変更内容を記載した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（第三面）

**[B 一定範囲内の省エネ性能が減少する変更]**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ・変更前の BEI＝（ | ）≦ | （ | ） |
| ・変更となる設備の概要 |
| □ 空気調和設備 変更内容記入欄 |
| □ 機械換気設備 変更内容記入欄 |
| □ 照明設備 変更内容記入欄 |
| □ 給湯設備 変更内容記入欄 |
| □ 太陽光発電 変更内容記入欄 |
| ・添付図書等 |
|  |
| （注意）変更となる設備は、該当するものすべてにチェックをすることとし、チェックをした設備については、変更内容記入欄に概要を、第三面別紙に必要事項を記入した上で、変更内容を示す図書を添付してください。 |

（第三面 別紙）

**[空気調和設備関係]**

|  |
| --- |
| 次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加 かつ窓の平均熱貫流率について 5％を超えない増加 |
| 外壁の平均熱貫流率について 5%を超えない増加の確認 |
| 変更内容 □断熱材種類 □断熱材厚み |  |  |
| 変更する方位 □全方位 □一部方位のみ（方位 |  | ） |
| 変更前・変更後の平均熱貫流率 |  |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |  |
| 窓の平均熱貫流率について 5％を超えない増加 |
| 変更内容 □ガラス種類 □ブラインドの有無 |  |  |
| 変更する方位 □全方位 □一部方位のみ（方位 |  | ） |
| 変更前・変更後の平均熱貫流率 |  |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |  |
| （ろ）熱源機器の平均効率について 10％を超えない低下 |
| 平均熱源効率（冷房平均COP） |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率変更前（ ） 変更後（ ） 減少率（ | ）％ |  |
| 平均熱源効率（暖房平均COP） |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 変更前・変更後の平均熱源効率変更前（ ） 変更後（ ） 減少率（ | ）％ |  |

（第三面 別紙）

**[機械換気設備関係]**

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）送風機の電動機出力について 10%を超えない増加 |
| 室用途（ | ） |  |  |
| 変更内容 | □機器の仕様変更 | □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の送風機の電動機出力 |  |  |
| 変更前（ | ） 変更後（ | ） | 増加率（ | ）％ |
| 室用途（ | ） |  |  |
| 変更内容 | □機器の仕様変更 | □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の送風機の電動機出力 |  |  |
| 変更前（ | ） 変更後（ | ） | 増加率（ | ）％ |
| （ろ）計算対象床面積について 5%を超えない増加（室用途が「駐車場」「厨房」である場合のみ） |
| 室用途（ 駐車場 ） 変更前・変更後の床面積変更前（ ） 変更後（ | ） | 増加率（ | ）％ |
| 室用途（ 厨 房 ） 変更前・変更後の床面積変更前（ ） 変更後（ | ） | 増加率（ | ）％ |

（第三面 別紙）

**[照明設備関係]**

|  |
| --- |
| 評価の対象になる室の用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）単位面積あたりの照明器具の消費電力について 10%を超えない増加 |
| 室用途（ ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |
| 室用途（ ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |
| 室用途（ ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |
| 室用途（ ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の単位面積あたりの消費電力 |  |
| 変更前（ ） 変更後（ ） 増加率（ | ）％ |

（第三面 別紙）

**[給湯設備関係]**

|  |
| --- |
| 評価の対象になる湯の使用用途毎につき、次に掲げる（い）に該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）給湯機器の平均効率について 10%を超えない低下 |
| 湯の使用用途（ | ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 | □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の平均効率 |  |  |
| 変更前（ ） 変更後（ | ） 減少率（ | ）％ |
| 湯の使用用途（ | ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 | □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の平均効率 |  |  |
| 変更前（ ） 変更後（ | ） 減少率（ | ）％ |
| 湯の使用用途（ | ） |  |
| 変更内容 □機器の仕様変更 | □台数の増減 |  |
| 変更前・変更後の平均効率 |  |  |
| 変更前（ ） 変更後（ | ） 減少率（ | ）％ |

（第三面 別紙）

**[太陽光発電関係]**

|  |
| --- |
| 下表掲げる（い）、（ろ）のいずれかに該当し、これ以外については「変更なし」か「性能が向上する変更」である変更。 |
| （い）太陽電池アレイのシステム容量について 2%を超えない減少 |
| 変更前・変更後の太陽電池アレイのシステム容量変更前 システム容量の合計値（ ）変更後 システム容量の合計値（ ） 変更前・変更後のシステム容量減少率（ ）％ |
| （ろ）パネル方位角について30 度を超えない変更かつ傾斜角について10 度を超えない変更 |
| パネル番号（ ）パネル方位角 □30 度を超えない変更 （ ）度変更 パネル傾斜角 □10 度を超えない変更 （ ）度変更 |
| パネル番号（ ）パネル方位角 □30 度を超えない変更 （ ）度変更 パネル傾斜角 □10 度を超えない変更 （ ）度変更 |